

(別添資料 1)

事業所名

放課後等デイサービス エンジョイライフつくば

支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

1 日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|------|-------|------|---------|---------|---|
| 法人（事業所）理念 | | 子どもたちが笑顔で過ごせる空間をつくる。 障がい児童にとって、地域、社会の架け橋となる。 | | | | | | |
| 支援方針 | | ひとつの「できた」から、たくさんの「できた」で成功体験を積み、自己肯定感を高めていきます。ADLの向上、SSTの理念を基本に日々の支援を行い、活動やイベントを通して楽しみながら社会のルールやマナーを学びます。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 平日 | 10 時 | 0 分から | 19 時 | 0 分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| | | 土曜日 長期休暇等 | 9 時 | 0 分から | 18 時 | 0 分まで | | |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 日常生活に必要な食事、衣服の着脱、排泄、身だしなみ等、生活力の向上を目指し支援していきます。 体操などの身体を動かす活動を通して、子どもたちが楽しみながら健康な生活習慣を身に付けられるよう支援します。 学校からの宿題のサポートだけではなく、必要に応じ個々に合わせたプリントなどの学習教材等を準備し、学習への不安や苦手意識を和らげていきます。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 公園遊びや室内遊びなどを通して、感覚を刺激し、運動習慣の定着を促しながら体力の向上と健康維持に繋がるよう支援します。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | 活動を通して、学ぶ楽しさにアプローチし、問題解決能力や判断力の向上を図ります。 おかしやさんの活動やおつかいイベント等の買い物体験を通して、社会のルールやマナー、数の認識や計算力の習得を支援します。 製作活動を通して、手先の使い方の訓練や色や形などの感覚を養えるよう支援します。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 日々の生活の中で相手の気持ちや行動を理解したり、自分の考えや思いを伝えることが出来るように、必要に応じた言葉やジェスチャー・絵カードなどの教材を用いて意思疎通を図れるよう、個々の発達に合わせて支援します。 集団生活の中で幅広い年齢の子どもと関わりを持つことで、コミュニケーションスキルアップを図ります。 表出に対して気持ちを受け止め、共感と代弁することで伝わった達成感を感じられるように支援します。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 日々の活動の中でSSTを意識し、子どもたち同士で協力することやルールを守ること、勝敗の結果を受け止めることが出来るよう支援します。 子どもや職員との関わりを通して、人との関係性や社会ルール等を身に付けられるよう支援します。 お出かけ等のイベントを通して、公共の場でのルールや過ごし方を身に付けられるよう支援します。 集団活動や集団行動を通してコミュニケーションスキルや自己表現力の向上を図ります。 | | | | | | |
| 家族支援 | | 面談の機会を設け、保護者様が抱える不安や悩みなどに耳を傾けられる環境づくりをしています。 日々の様子をSNS(Instagram、LINE)で発信することで、事業所内での様子を明確化し安心して通所できるよう取り組んでいます。 | | | | 移行支援 | | ライフステージに合わせて、学校や相談支援事業所などと支援会議を通して情報提供・共有をして連携を図り、円滑な支援を行っています。必要に応じて、専門性のある事業所への移行も勧めています。 |
| 地域支援・地域連携 | | チャレンジアートフェスティバルへの参加を通して、地域の方との交流を図っています。 | | | | 職員の質の向上 | | 新人研修・事業所内研修の実施。外部研修への参加。 |
| 主な行事等 | | 月ごとの季節に合わせた行事（例：春 ひな祭り・節分・花見/夏 夏祭り・プール/秋 紅葉狩り・ハロウィンパーティー/冬 クリスマスパーティー・初詣・正月遊び）、調理実習、製作活動、避難訓練、外出イベント(工場見学、公園遊び、カラオケBOX、外食、ボーリング、買い物等) 等 | | | | | | |